

IGL にドイツからのボランティア 2人がやってきました。

9月14日～15日、日本で社会奉仕活動を希望するドイツ人のコリーナ・ミヒヤエルさんとサラ・アン・グレイスバーグさんが来日。9月18日から来年8月までの1年間、IGLグループのサムエル幼稚園や保育園で教職員のサポートを行います。また、グループの高齢施設でもレクリエーションなどのお手伝いをして頂く予定です。



Corinna Michaeli 1993年6月生



Sarah Ann Gleisberg 1993年5月生

日本では高校を卒業してからすぐ就職したり進学したりするのが普通ですが、ドイツでは、そうした前に社会奉仕活動を通して見聞を広め自身の成長の糧にしたいという若者が約6割います。二人も同様に日本での社会奉仕活動を希望し、16倍の難関をパスして国際ボランティアとして日本に来ました。今回、ドイツから日本に来たボランティアは全部で14人。IGLでは国際貢献の一貫として、彼女たちを受け入れ、宿舎や食事、小遣いを提供します。

カロリーナさんはデュイスブルグ出身でドイツ語のほか、英語・フランス語・日本語がしゃべれます。日本を知ったきっかけはアニメ、ポケットモンスターやセーラームーン、ドラゴンボールとか。「自分探しのためにボランティアに応募した。多くの日本人とコミュニケーションをして、日本文化を知り、日本語能力を高めたい」と言っています。趣味は漫画を描くこと、サイクリング、ウォーキング。

サラさんはハノーバ出身でドイツ語のほか、英語、フランス語、スペイン語、日本語がしゃべれます。日本を知ったきっかけは日本の音楽、特にロックが好きだとか。「子どもと過ごすことが好きで幼稚園に興味があった。自立することと人生の経験を積むためにボランティアを志願した」と言っています。趣味はコスプレ、ロリータファッション、ギター演奏。

彼女たちの奉仕精神に敬意を表します。皆さんも、まずは **facebook** などを通じてお友達になって下さい。街角で見かけたらあたたかい声をかけてあげて下さいね。